

物価高騰対応重点支援交付金におけるLPガス価格高騰対応補助事業

●エネルギー・食品等の物価高騰の影響による経済的負担を受けている方を支援するため、LPガスを利用している契約者を対象に、熊本県LPガス協会を通して支援金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を実施します。

【支給対象者】

高森町内で契約（使用）している個人

※法人名及び屋号での契約、LPガスを一時的に止めている場合は対象外となります。

【支給額】

1 契約当たり一律5,000円

財源として $\frac{1}{2}$ LPガス支援補助金
 $\frac{1}{2}$ 物価高騰対応重点支援交付金 を活用予定

【申請方法】

熊本県LPガス協会を通して申請・給付を実施する予定です。

【申請受付開始日】

市区町村において決定（物価高対策の趣旨を踏まえ、迅速な給付開始を目指すものとする。）



事業費	補助額	一般財源
1,438万円	1,438万円	0円

自治体ライドシェア運行管理業務等委託事業

●自家用有償旅客運送制度を活用し、交通空白地の解消を図るため、実装を目指した実証実験を継続して行います。

【現状と課題、事業の目的】

タクシー事業者の車両やドライバー不足が全国的に課題となっている中で令和7年2月～3月に「自家用有償旅客運送制度」を活用した実証実験を実施した。夜間利用の一定の成果は得られたものの、冬季での実施となったため、日中利用にはつながらなかった。観光客の多い夏季及び秋季での実施を主とした実証実験を実施する。

【事業内容】

令和7年2月～3月の実証実験結果を踏まえながら、地元タクシーを優先的に配車し、不足を補う形でライドシェアを運行する。
※今後効果的な補助金も検討

【事業費】

令和7年度実証実験期間9か月×運行管理委託経費等710,000円
車両整備諸経費等（4台分）2,733,000円
事業費総額 9,223,000円



事業費	補助額	一般財源
922万円	0万円	922万円

高森総合センター北側駐車場防災倉庫新営事業

●南海トラフ地震や、その他大きな災害時に安心して町民の受け入れ等を行うための災害物資拠点として防災倉庫を新設します。

【事業の目的】

大規模な地震・土砂災害時等に各方面から被災者に寄せられる救援物資など、物資輸送集積拠点の速やかな開設、被災者の避難生活の安定を図る体制を整備する。

【事業内容】

今後起こりうる南海トラフ地震や、その他災害時での災害物資拠点として災害防災倉庫を新設する。
・防災倉庫2棟

【財源】

災害防災倉庫については、**緊急防災・減災事業債を活用予定**
(充当率100%、交付税措置率70%)
交付税措置を除いた町負担分は、**ふるさと応援償還基金を活用予定**

⇒可能な限り「町民負担ゼロ」の事業実現を目指す。



事業費	緊防債	一般財源
9,515万円	9,510万円	5万円

(仮称)「生活支援米」緊急支援事業

●国の緊急対策と併せて、地域社会の食料安全保障(フードセキュリティ)を強化し、特に子ども食堂や、経済的に困難な状況にある家庭への支援を行います。

【現状と課題、事業の目的】

コメ不足による価格高騰・在庫不足が続いていることから、町内の米販売事業者からの要望をふまえ、特に影響を受ける子ども食堂や子育て世帯や高齢者に対して、独自に確保した備蓄米(令和5年産)を提供することを目的としています。

【対策、事業内容】

- ・子ども食堂への緊急無償配布支援
- ・子育て世帯(18歳以下の子どもがいる世帯)及び高齢者単身世帯(65歳以上)を対象に発行する引換券(クーポン)で配布

【事業費】

≪備蓄米確保委託料≫

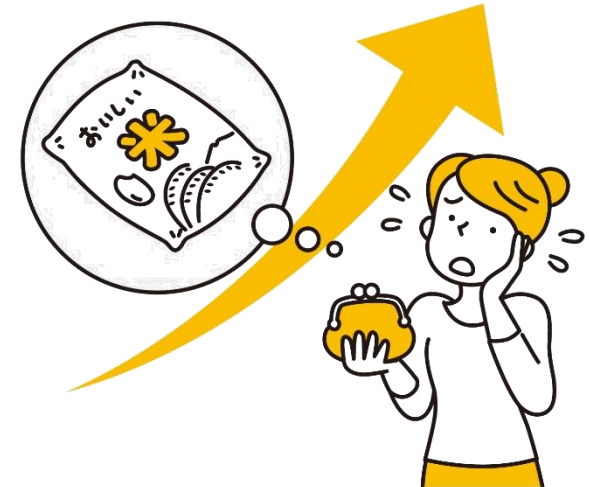
10t ÷ 5kg (3,402円) = 6,804,000円

≪配送等委託料≫

3,196,000円

※R7年度の物価高騰対応重点支援臨時交付金の追加配分枠を活用予定

※マーケットの状況によっては更なる追加支援について検討



事業費	補助額	一般財源
1,000万円	0万円	1,000万円

高森中央学園義務教育学校基本構想策定業務委託

- 現高森中学校敷地内に施設一体型の義務教育学校校舎を設置するための基本構想を策定します。

【事業の目的】

- ・令和7年3月31日付け高森町立小・中学校統合等審議会からの答申に基づき、高森中央学園義務教育学校の開校年度を令和11年（2029年）4月1日を目標年度とし、基本構想の策定に着手する。

【基本構想内容】

- ・敷地レイアウト、教室（普通、特別）数等レイアウト、建設スケジュール、事業費用の見込等

【その他】

- ・義務教育学校施設整備の補助財源については、文部科学省所管「学校施設環境改善交付金」が活用できることから、同省との今後の協議資料としても当基本構想資料をフル活用する。



事業費	補助額	一般財源
990万円	0円	990万円

CLIL（クリル）イングリッシュキャンプ

●阿蘇の自然・環境・動物について、英語で学ぶCLIL（クリル）イングリッシュキャンプを開催します

【CLIL（クリル）プログラムとは？】

- ・英語を使って教科（理科、社会、数学など）の内容や様々なテーマを学ぶ学習方法。単に英語を学ぶのではなく、英語を学習の道具として使い、内容の理解を深めると同時に、英語の能力を高めることを目指すプログラム。高森町では令和5年度より導入。

【期日、場所及び対象】

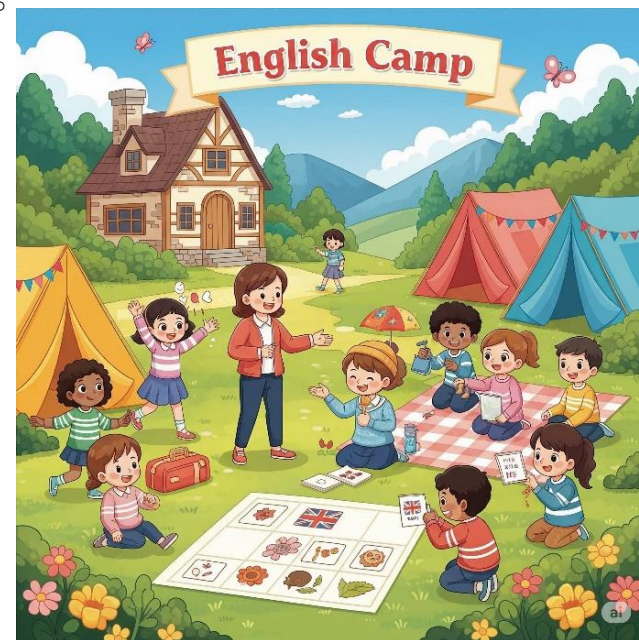
- ・令和7年8月4日～5日（予定）奥阿蘇キャンプ場 など
- ・小、中、高校生 など（参加費5,000円程度を想定）

【プログラム】

- ・SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」をテーマに阿蘇茅葺工房等を通じて体験学習
- ・オーストラリア学校とのオンライン交流を予定
- ・阿蘇を題材に学んだことを英語と日本語でプレゼンテーション

【費用】

- ・キャンプ場施設使用料、保険料、講師謝金 など



事業費	補助額	一般財源
15万円	0円	15万円

ONE PIECE × 南阿蘇鉄道観光活性化実行委員会負担金

●ワンピース熊本復興プロジェクトの一環として、南阿蘇鉄道の全線再開を機に運行している人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車「サニー号トレイン」を継続運行します。

【目的】

令和5年7月の南阿蘇鉄道全線運転再開を機に、人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車を運行しており、国内のみならず、海外からの観光客増に大きく貢献している。令和7年以降もサニー号トレインをフックに高森町への誘客を図るため、おおむね令和7・8年の2年間を目途に運行を継続する。

【事業内容】

令和7年7月から令和8年7月までの1年間分の運行に係る年間ロイヤリティ（著作権料）を熊本県、高森町、南阿蘇村で1／3ずつ負担する。



事業費	南鉄復興応援基金	一般財源
660万円	660万円	0円

たかもりポイントカード行政ポイント付与負担金

●地域に人とお金を循環させるデジタル地域通貨（たかもりポイントカード）の運用を展開します。

【事業概要】

2025年4月から開始した『たかもりポイントカード』運用開始に伴う、行政ポイント付与分を負担金として計上。町内での地域活動（イベント・ボランティア・住民健診等）への参加などを対象に、行政ポイントを付与する。端末機を使ってポイントを取得し、たまったポイントは制度加盟店舗（スーパーや飲食店等）で使うことができるだけでなく、家族や知人に送付可能。また、町外者もカードを取得することができ、町ぐるみの取組みが地域経済の活性化に繋がる。

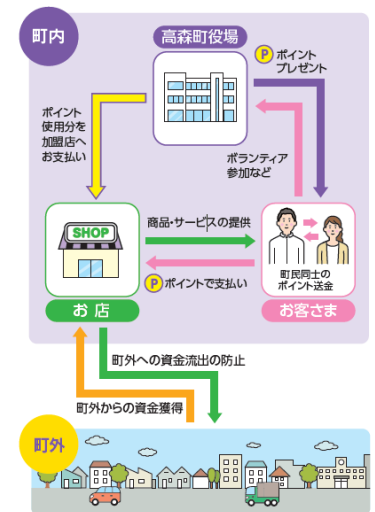
名称：たかもりポイントカード

対象：全町民、希望する町外者

【負担金】 合計52,000千円

- ・各事業行政ポイント付与分

- ・町外者カード配布キャンペーン 5千円／1人当たり



事業費	臨時交付金	ふるさと応援基金	町の負担
5,200万円	0万円	5,200万円	0円

予算書P16

ふるさと応援保育サポートカー導入事業

●保育の更なる充実を図るため、保育サポートカーを導入します。

【事業の目的】

1名体制になったことによる園長の色見保育園と高森東保育園間の移動や、お遊戯会などの行事や休暇などで保育士がサポートに行く場合、また各種研修会等に参加する場合などに使用する車両を導入し、保育の更なる充実を図る。



【事業内容】

保育サポートカー1台を購入する。
※ふるさと応援寄付金のラッピング入り

【事業費】

3,000千円



事業費	ふるさと応援寄付金	町の負担
300万円	300万円	0円

ふるさと応援 地域密着型公園整備事業

●親水公園は、平成11年に森林過疎地域を新たな発想によって再構築を図るため補助事業等活用し町で整備した。現在は、清掃等を地元住民に委託して管理している公園で、当時の経緯をふまえると、行政は持続可能な公園として再整備する必要がある。池の汚泥蓄積が大きな課題で、清掃活動を行うものの抜本的な解決に至らない現状にある。

【目的】

- ・町が主体となり、地域からの要望も取り入れた公園として再整備する。
 今後は「令和版」にバージョンアップし、地元一元管理を委託し、自発的な活動を促すことで、地元住民のみならず県内外から訪れる観光客の憩いの場としての利用促進を図る。
- ・公園の名称「野尻親水公園」についても、地元新しい名称を募り
 この機会に名称変更も行う予定である。

【事業内容】

親水公園給水地及び池周辺整備

→給排水施設更新及び池の整備 5,178千円

親水公園トイレ景観向上

→公園内トイレ塗装工事 911千円

公園看板設置

→公園入口2カ所に看板を設置 223千円



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
631万円	631万円	0円